

◆ AMDA調整員、比へ出発

台風30号で甚大な被害が出たフィリピンで緊急医療支援活動を行うため、国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）から第2陣として派遣される大政朋子調整員（41）＝宮城県石巻市＝が13日、岡山市を出発した＝写真。



大政調整員は東日本大震災発生直後から被災地で活動しており、「石巻ではフィリピンの被災者への募金活動が始まった。これまでの経験を生かして活動したい」と話した。

14日にニティアン・ヴィーラバグ調整員（45）＝岡山市北区＝と合流し、空路マニラ入り。2人は本格的な医療支援に向けマニラで情報収集に当たる。帰国は大政調整員が今月末、ニティアン調整員は18日の予定。

またAMDAは15日午前11時半から、同本町の岡山高島屋前で活動費に充てる街頭募金を実施。岡山ユニセフ協会（同石関町）も16日午前11時半から、同表町の天満屋岡山店前で募金活動し、日本ユニセフ協会（東京）を通じて支援活動に役立てる。